

市民歴史大学 「歴史舞台・玉手山」

- ・各定員：90名
- ・当館3階研修室
- ・参加費無料・申込不要

■令和2年1月11日(土)
13:30～15:00

広瀬和雄氏
(国立歴史民俗博物館 名誉教授)
『前方後円墳は政治的墳墓』

■令和2年2月16日(日)
13:30～15:00

犬木努氏
(大阪大谷大学 教授)
『埴輪の考古学－入門編－』

館長と学ぶ 大和川講座

- 安村俊史(当館館長)
いずれも13:30～15:00
- ・定員：70名
 - ・当館3階研修室
 - ・参加費無料・申込不要

■令和2年1月25日(土)
『亀の瀬の地すべりと大和川』

■令和2年2月22日(土)
『これからの大和川』

■令和2年3月28日(土)
『大和川の歴史を語る』(最終回)

体験教室 「わらぞうりをつくろう」

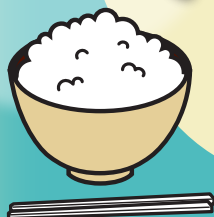
■令和2年2月2日(日)
13:30～16:00

- ・定員：15名
- ※先着順で定員になり次第、締切ります。
- ・小学校5年生以上対象
- ※小学4年生以下は、保護者の付添いが必要です。
- ・当館3階研修室
- ・参加費無料
- ※直接窓口にて、もしくは電話(072-976-3430)でお申し込みください。

令和元年度 冬季企画展

ちょっと昔の道具たち

おいしい
お米が
できるまで

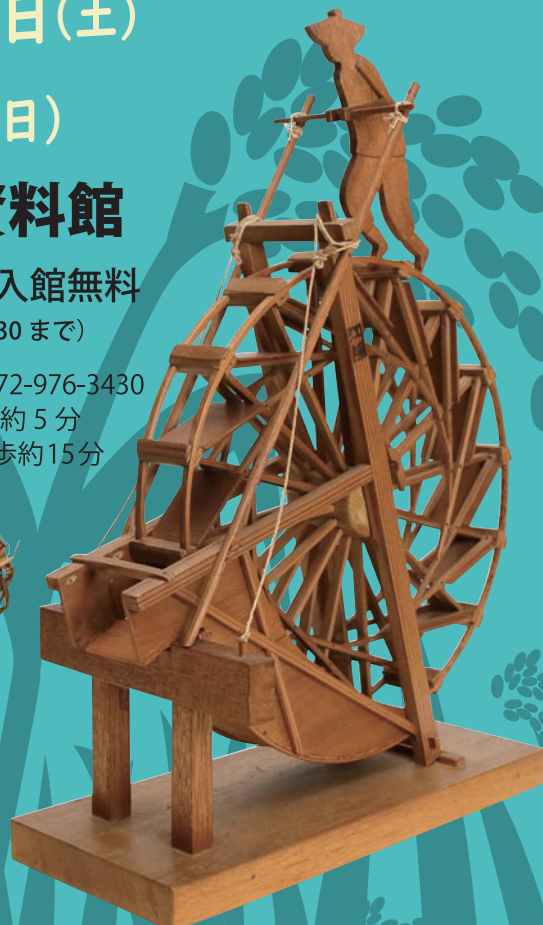


2020年1月4日(土)
- 3月8日(日)

柏原市立歴史資料館

月曜休館(祝日は開館) 入館無料
9:30～17:00 (入館は16:30まで)

大阪府柏原市高井田 1598-1 電話:072-976-3430
JR 大和路線 高井田駅から徒歩約5分
近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩約15分



ちょっと昔の道具たち

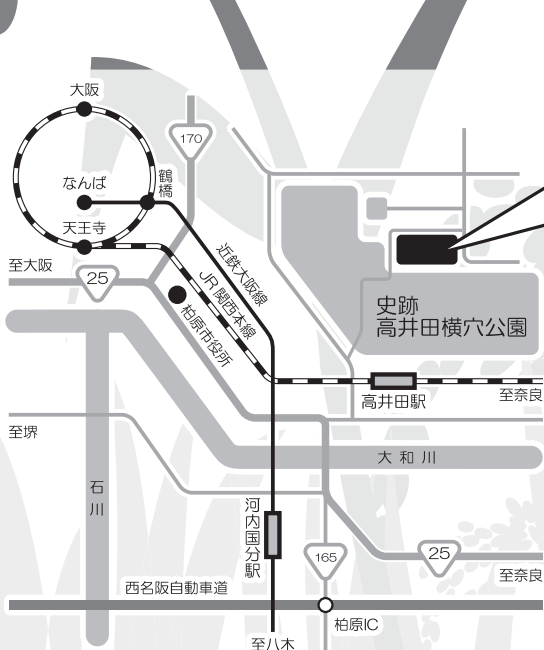
おいしいお米ができるまで

お米ができるまでにはどんな道具ひつようが必要でしょうか。土を耕し田たがやんぼをつくるための鍬くわや鋤すき、きちんと苗なえを植えるために印しるしをつける田植えなわ縄、田んぼに水を入れるための踏車ふみぐるま、稲いねを刈るための鎌かなどがあります。さらに、稲から粳もみを落とすための稲こきわら、粳と藁わらくずを分ける唐箕とうみ、粳から玄米げんまいにする摺臼すりうす、玄米から白米きねにする杵うすと臼。こうした道具を使って、みなさんが目にする白いお米ができます。

今では機械きかいが広まり、使われなくなった道具もありますが、そうした道具には、おいしいお米をつくるための工夫くふうや知恵ちえがたくさんつまっています。ちょっと昔の道具から、お米づくりとそのくらしを見てみましょう。

おもな展示資料てんじしりょう

- ◆田植えの準備じゅんび…鍬くわ、鋤すき、犁すき、田植え縄なわ
- ◆稲を育てるいね…除草機じょそうき、田舟たぶね、踏車ふみぐるま
- ◆稲からお米へかま…鎌かま、稲こきとうみ、唐箕さ、米刺しいし
- ◆お米を食べるいしうす…石臼はがま、羽釜すいはんき、炊飯器
- ◆わらを使うわらし…横づちわらし、草鞋わらじ、牛くつうしくつ、縄ない機き ほか



柏原市立歴史資料館

9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

入館無料 月曜休館 (祝日は開館)

072-976-3430

大阪府柏原市高井田 1598-1

JR 大和路線 高井田駅 北へ 5 分

近鉄大阪線 河内国分駅 北へ 15 分